



KANTO

総合カタログ

■ H550KS/H600KS/H650KS

■ KV15CS

■ KV25CS/KV25DS

■ KV40CSE/KV40DSE

■ KV40CSi/KV40DSi

■ KT30S

■ KT40S

■ CW200

KANTO TEKKO CO., LTD



ごあいさつ

1984年(昭和59年)、当社は、国際的な転圧機メーカー様への部品供給会社として設立。以来、「世界に通じる技術を」と、経験と実績を積み重ねながら、現在では、各種締固め機械の完成機からメイン部品までを供給するに至っております。さらに、クローラ洗浄機など、当社独自の視点で開発した機械を製造・販売しております。

また、環境負荷低減の観点から、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくキーワードである「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3Rにも注力。その一環として、過去には排出ガス浄化装置、現在では中古機の再生(リユース)事業に取り組んでまいりました。リユース機は、レンタル用または販売用として、多くのレンタル会社様に対し、高性能な機械を低コストで提供することを可能にしております。

このように、メーカー様やレンタル業界の各社様との協力関係を大切に、建設現場で実際に使用するエンドユーザー様の作業効率向上に貢献できるよう努めております。長年つちかかってきたノウハウを活かしながら、これからも“誠意あるものづくり”を貫き、皆様に喜んでいただける製品をご提供していきたいと考えております。

今後とも一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
橋本 俊哉

会社概要

商号 関東鉄工株式会社(KANTO TEKKO CO., LTD.)
資本金 4,000万円
代表者 橋本 俊哉
事業所 ■ 本社・工場 〒306-0127 茨城県古河市下片田 852-4
TEL 0280-77-0081 FAX 0280-77-0080

事業内容

- 自社オリジナル締固め機械の製造・組立・販売
- 自社オリジナル重機メンテ機器(クローラ洗浄機)の製造・組立・販売
- 締固め機械のレンタル



YouTubeで会社紹介がご覧になります。

KANTO

RRR
リデュース リユース リサイクル

会社沿革

- 1984 ドイツ・ボーマク社への部品およびコンポーネントの供給会社として設立。
- 1985 日本ボーマク株式会社への部品およびコンポーネントの供給を開始。
- 1986 締固め部門を発足。タイヤローラおよびマカダムローラを独自開発、生産を開始。
- 1988 タイヤローラおよびマカダムローラを同時発売。両機種は古河機械金属株式会社へのOEM供給を開始。
- 1991 クローラ洗浄機(各種重機の足回り洗浄ロボット)を開発。
- 1992 クローラ洗浄機「CW20」を発売。
- 1993 資本金を4,000万円に増資。
- 1995 トルコン式タイヤローラ「PT20W」を発売。
- 1996 第一次排出ガス規制をクリアした締固め機械3機種、タイヤローラ「P20WA」「PT20WA」、マカダムローラ「M1F」を発売。
東京濾器株式会社と共同開発の重機用排出ガス浄化装置「DCR-650E」(建技評 第96302号)を発売。
- 1999 CONET'99(建設機械展示会)にて、新型マカダムローラ「M1-II」を発表。
- 2001 ホームページを開設。
- 2003 レンタル事業を開始。
ディーゼル自動車用 八都県市指定粒子状物質減少装置の販売を開始。
- 2004 重機用排出ガス浄化装置を2,000台販売達成。
- 2006 クローラ洗浄機「CW25」を発売。
- 2009 ハンドガイドローラ「H600/H650」、4トンコンバインドローラ「KV40C」、タンデムローラ「KV40D」を発売。
- 2010 3トンタイヤローラ「KT30」、2.5トンコンバインドローラ「KV25C」、タンデムローラ「KV25D」を発売。
- 2012 NETIS登録、超低騒音型振動ローラ「KV25CS/DS」「KV40CS/DS」販売開始。
HAMM社 土工用振動ローラ販売開始。
- 2015 4トン振動ローラ「KV40CSE」「KV40CSI/DSi」販売開始。
- 2016 中部工業株式会社と販売提携を開始し、中部工業株式会社のグループ会社となる。
- 2017 NETIS登録、超低騒音型ハンドガイドローラ「H600KS/H650KS」、3トンタイヤローラ「KT30S」販売開始。
- 2018 ハンドガイドローラ「H550KS」販売開始。
- 2019 旧本社工場、坂間工場を新工場へ集約移転。
業界初の電動式ハンドガイドローラ「H600E」販売開始。
クローラ洗浄機「CW200」を発売。
- 2021 後方緊急停止装置付4トン振動ローラ「KV40CSE」、2.5トン振動ローラ「KV25CS」販売開始。
ハンドガイドローラ「H600KS」「H650KS」に、後方ドラムゴム巻き仕様のコンバインドタイプを追加。
- 2022 業界初の4トンクラスアーティキュレート式旋回のタイヤローラ「KT40S」の発売を開始。
国内唯一の1.8トンコンバインドローラ「KV15CS」を発売。
- 2023 鈴木庸徳が会長に就任、橋本俊哉が社長に就任

H550KS / H600KS / H650KS

▶ ハンドガイドローラ



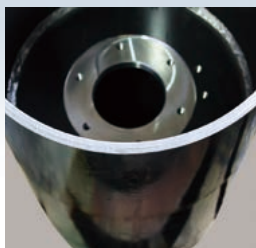
国土交通省指定超低騒音型

超低騒音型：H600KS は 94dB、H550KS / H650KS は 93dB の低水準！
H550KS は 550kg クラスで初の NETIS 取得！
25% 肉厚の”スーパードラム”を標準仕様として採用



耐久性・施行性抜群の “スーパードラム”

入替え時期が延び収益性アップ！
外周機械加工により施工仕上がりも
格段にアップします！
(旧型比 +4mm 肉厚)



- 振動軸にはシリンダーローラベアリングを採用し、耐久性が向上。(H600KS / H650KS)
- 走行機構に減速機が無いため走行モーターからのオイル漏れが激減。
- 前後進レバーが中立時のみエンジンが始動する安全設計。
- 後進時、挟まれ事故から作業員をガードする、緊急停止装置付。
- 夜間工事でも施工状態を確認できる関東鉄工独自のサイドライト(オプション)
- よりスムーズな最終仕上げを要求される現場に最適な後方ドラムゴム巻き仕様(オプション)

H600KS / H650KS



▶ 液剤噴霧装置(オプション)

全機種



意匠出願登録済

▶ LEDサイドライト(オプション)

H550KS



▶ 後方ドラムゴム巻き仕様(オプション)



▶ バックミラー

KV15CS

▶ コンバインドローラ



国土交通省指定超低騒音型



第3次基準値排出ガス対策型

NEW

小規模舗装・駐車場・舗道などの転圧に最適!



吸音材付フルオープンボンネット
18.2kWのパワフルなエンジン



新型計器パネル



アームレスト付シングルシート
(シートベルトはオプション)



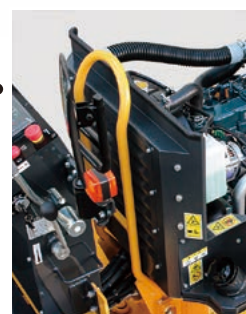
アーティキュレート式旋回装置
オシレーション機能付き

回転式アンダーミラーステー

国内唯一の1.8トンクラスコンバインドローラ



緊急停止ボタン



一点吊り可能なアーム標準装備

100L散水タンク



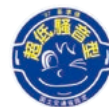
2トントラック積載可能

締固め幅1,000mm

前輪下側スクレーパ
標準装備

KV25CS/DS KV40CSE/DSE KV40CSi/DSi

▶ コンバインド・タンデム
搭乗型振動ローラ

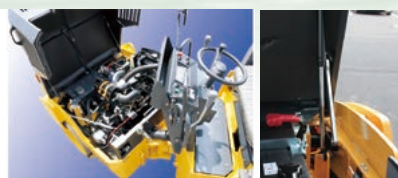


国土交通省指定超低騒音型

狭い現場から中規模工事まで対応するオールラウンダー6モデル!!

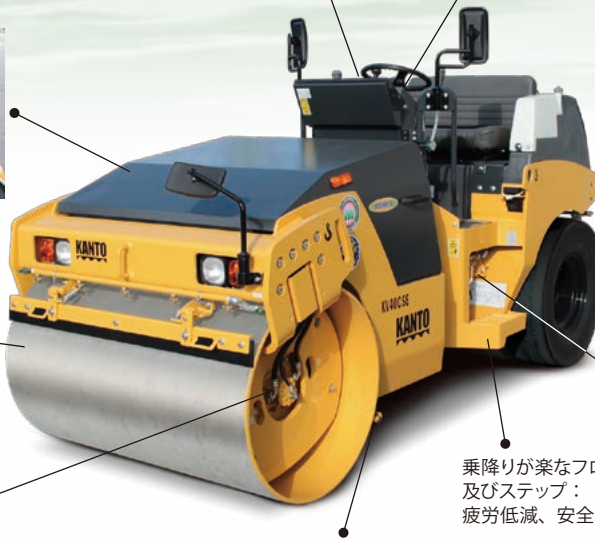
	KV25CS/KV25DS	KV40CSE/KV40DSE	KV40CSi/KV40DSi
	超低騒音型 第3次基準値 排出ガス対策型	超低騒音型 第3次基準値 排出ガス対策型	超低騒音型 特定特殊自動車 排出ガス2014年 基準適合車
コンバインド	1,200mm 2,700kg 17.7kW 	1,300mm 3,600kg 18.2kW 	1,300mm 3,600kg 25.0kW
タンデム	1,200mm 3,000kg 17.7kW 	1,300mm 4,000kg 18.2kW 	1,300mm 4,000kg 25.0kW

フルオープンボンネット：
容易なメンテナンス作業
跳ね上げ時ロックバー装備

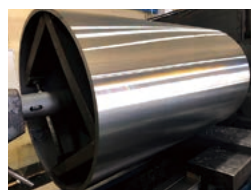


バックブザーオフスイッチと
間欠散水タイマーを標準装備

欧州安全視界基準 1 X 1 をクリア
国土交通省指定 超低騒音型



後輪2モータ駆動により、コーナリング時のタイヤの引きずりを軽減し、標準装備のデフロックで不整地での安定作業が可能（コンバインド）



内製の外周加工ドラム：
散水の流れが均一になり、
表面仕上げがスムーズに



振動軸にはシリンダーローラベアリングを採用し、耐久性を向上

ドラム前後にスクレーパー標準装備
（後輪タイヤは後方のみ）

乗降りが楽なフロア高さ
及びステップ：
疲労低減、安全性を確保



高耐久性のインペラー式
散水ポンプ採用

KV40CSi/DSi

フル電子制御 DPF 付コモンレールエンジンで PM（粒子状物質）と Nox（窒素酸化物）を低減 25kW のハイパワーモデル



▶ マルチ液晶ディスプレイモニター搭載



▶ 排出ガス後処理システム

KV25CS/DS KV40CSE/DSE KV40CSi/DSi

▶ コンバインド・タンデム
搭乗型振動ローラ



国土交通省指定超低騒音型

各部機能、オプション (Op) 紹介



▶ LEDライト



▶ ハザードスイッチ



▶ 12V電源ソケット



▶ エコモードスイッチ



▶ 後方緊急停止装置(Op:発注時のみ)



▶ バックセンサー(Op)



▶ カラットシート(Op)

▶ オプション一覧 (Op)

	KV25CS/DS	KV40CSE/DSE	KV40CSi/DSi
ハザードスイッチ	標準	標準	標準
散水間欠タイマー	標準	標準	標準
LEDヘッド・バックライト	標準	標準	標準
12V電源ソケット	標準	標準	標準
寒冷地仕様	○	標準	標準
エコモードスイッチ	標準	-	○
後方緊急停止装置	○	○	○
バックセンサー	○	○	○
カラットシート	○	○	○

KV25CS/DS KV40CSE/DSE KV40CSi/DSi KT40S

後方緊急停止装置付

- ▶ コンバインド・タンデム
搭乗型振動ローラ
- ▶ タイヤローラ

障害物検知緊急停止装置
国土交通省 新技術情報提供システム
NETIS登録
登録番号 KT-220233-A



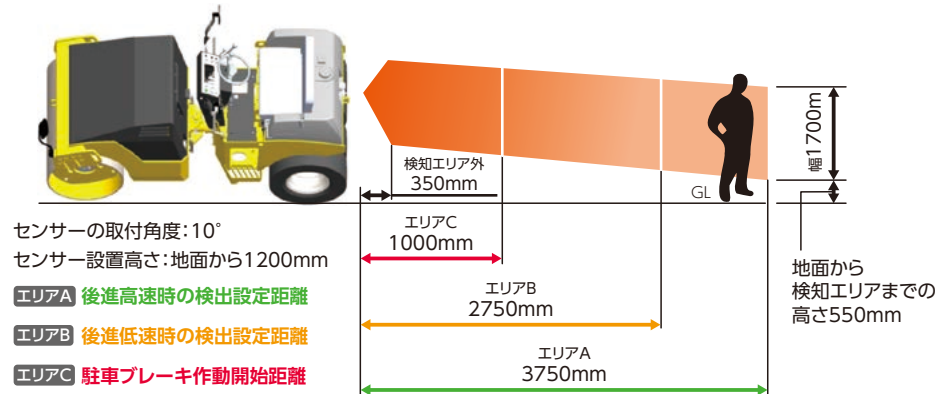
NETIS登録済



国土交通省指定
超低騒音型

工事現場での後進時の衝突回避の支援・衝突被害の軽減に役立つ装置です。

センサーの検知エリア (KV40)



特許第7132389号



人・障害物検知方法

水タンク後方下部に設置されたセンサーから人(作業員・歩行者等)や障害物までの距離を設定し、後進時人や障害物に接触することなく停止します。

センサーには検知可能なエリアが3か所あり、KV40の場合走行速度を高速/低速に分けて検知可能です。3か所のうち1か所で駐車ブレーキを作動させ、緊急停止します。

緊急停止装置の車両速度と警報機能の作動条件

緊急停止装置と警報機能は、後進時(前後進レバーが後進(R)のとき)に下記速度内で作動します。

	変速スイッチ	KV40CSE/DSE, KV40CSi/DSi, KT40S	KV25CS/DS
後進	低速度段	0~5km/h	-
	高速度段	0~7km/h	0~7km/h

▶ KV40CSE操作パネル



走行モード切替スイッチで壁際作業もOK。

- ① エンジン始動
- ② 電源スイッチON
- ③ 10秒後に緊急停止装置準備完了と同時に電源表示ランプが点灯

検知エリアに対象物が入るとアラーム音でも注意喚起。

⚠ 注意事項

車両および緊急停止装置をご使用前に取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分理解された上で正しくお使いください。

後進時障害物を検知し、走行レバーを中立位置に強制的に戻します。

本装置は、衝突防止を補助する装置であって、衝突を確実に防止する装置ではありません。

運転者は本装置に頼った運転はせず、常に自らの責任で周囲の状況を確認し、安全運転を行ってください。

検知する対象物の状況、自車の状況、作業環境などによっては、緊急停止装置が正しく作動しない、または性能を十分に発揮できない場合や、衝突の危険とは関係なく作動する場合があります。

安全上の理由から許可なく機械を改造しないでください。

改造に起因する人身事故や故障などについては責任を負いません。

動作や性能に異常を感じた場合や 破損箇所がある場合は、ただちにご使用を中止し、当社にお問い合わせください。

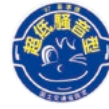
安全性を確保するため、年1回の当社または当社指定工場の点検・整備の実施をお願いします。



壁際走行でも検知エリアに対象物が入ると緊急停止。

KT30S

▶ タイヤローラ



国土交通省指定超低騒音型



第3次基準値排出ガス対策型

市街地、小規模舗装工事に最適！

欧州安全視界基準1 X 1をクリア
NETIS登録 超低騒音型

フィルター付樹脂製水タンク

工具不要で交換可能な散水ノズル

吊上用フック
(標準装備)

回転式アンダーミラーステー

デフロック標準装備
不整地での安全性を確保

前後進レバーがニュートラル位置の時のみ、
エンジンが始動する安全設計

フットブレーキ作動時、
油圧モータに組み込まれた
ネガティブブレーキと連動し、
より確かな安全性を実現

2スピードモータ採用により速度の
切替が可能

液剤補充の容易な
液剤噴霧装置(標準装備)

高耐久性のインペラー式散水ポンプ



関東鉄工だけの2駆動モータ
コーナリング時のタイヤの引きずりを
軽減、カーブ路面でも均一でスムーズ
な締固めが可能



2スピードモータ採用により速度の
切替が可能



液剤補充の容易な
液剤噴霧装置(標準装備)



高耐久性のインペラー式散水ポンプ

KT40S

▶ タイヤローラ



国土交通省指定超低騒音型



第3次基準値排出ガス対策型

業界初の4トンクラスタイヤローラ！



サービス性に優れたボンネットと各機器の配置

欧州安全視界基準
1×1をクリア
NETIS登録
超低騒音型



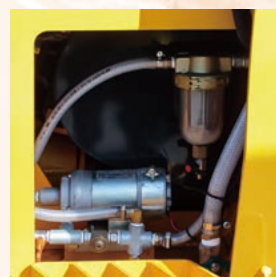
新型計器パネル



散水スイッチ、散水タイマー
液剤スプレースイッチ

回転式アンダー
ミラーステー

273mm幅、812mm径の
大型タイヤ採用により深い
締固めを実現



インペラー式散水ポンプ

4トン振動ローラと同感覚で乗り換え違和感無し！

330Lの大容量
散水タンク採用

速度切替、灯火類
バックブザースイッチ



高い光量の
前後LEDランプ



アーティキュレート式旋回により、
前後輪が同一軌道を通り
作業性・生産性アップ

CW200

▶ クローラ洗浄機

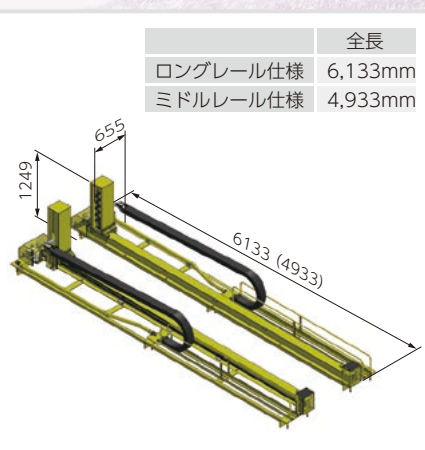


Check!!



YouTubeで
動画がご覧になれます。

安全衛生管理体制に貢献する自動洗浄ロボット
洗浄工数とコストを大幅低減
新型で更に耐久性アップ・メンテナンス性改善
コンパクトな現場にフィットするミドルレール仕様を追加



一連の洗浄作業が約30分で終了

本機を使用すれば作業員が重労働をすることなく、安全な環境で一連の作業が完了します。

左右計14のノズルから水を噴射

左右計14のノズルがクローラに向かって大量の水を噴射。
洗浄ノズルが縦方向に上下動しながら前後に連続走行し、機械足回りの洗浄を行います。

100台使用でコストは5分の1 *当社試算による

20トンクラス油圧ショベルを100台洗浄した時の電気・水道・人件費を合わせたコストは、
高压洗浄機での手作業に比べ約5分の1。使用水は循環方式により、再利用が可能です。

アンカー不要で設置が容易

設置にアンカー留めが不要な置き型式なので、様々な形状の洗車場に対応することができます。



▶ 仕様

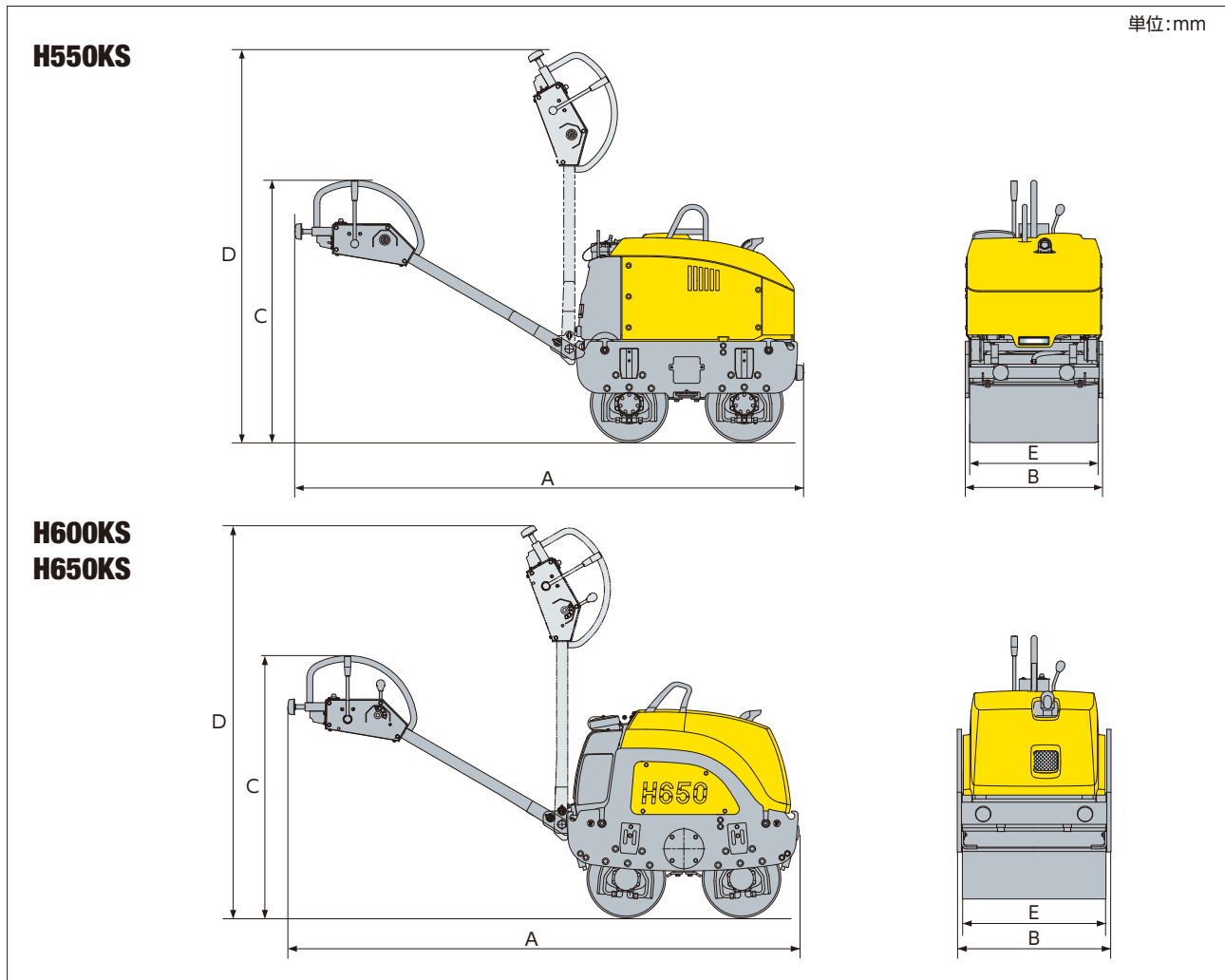
駆動方式		電気駆動
洗浄可能機械		油圧ショベル・ブルドーザー・キャリアダンプなどのクローラ機械(ゴムおよび鉄どちらでも可) ホイールローダー・ダンプトラックなどの足回りも洗浄可能
外形寸法	レール長さ	6,133mm(ロング)/4,933mm(ミドル)
ノズル走行距離	左右ノズル間距離	3,380mm (最小)
	Sモード	2,530mm
	Mモード	3,810mm
	Lモード	5,010mm(ロングレール仕様のみ)
ノズル走行時間		5分44秒/40Hz (ロング) 4分22秒/40Hz (ミドル)

駆動方式		電気駆動
ノズル昇降ストローク		90mm
洗浄ポンプ	吐出量	500L/min
	所要電力	11kw
総所要電力		75A, 200V (3相)
ノズル走行駆動方式		電動モーター
走行パターン	走行距離	ショート(S)・ミドル(M)・ロング(L) (ミドルレール仕様は(S)・(M)のみ)
	走行回数	1・2・3・5・連続(50回)
コントロールプログラム		シーケンス
走行制御		シーケンス
洗浄水吐出制御		電動バルブ

H550KS/H600KS/H650KS

▶ ハンドガイドローラ

▶ 外形図



▶ 仕様

Model		H550KS	H600KS	H650KS
打刻様式		50-****	60-****	66-****
質 量				
機械質量	kg	548	605	635
寸 法				
全 長	A mm	2,297	2,308	2,308
全 幅	B mm	620	634	694
全 高	C mm	1,185	1,182	1,182
全高(収納時)	D mm	1,772	1,769	1,769
締固め幅	E mm	580	588	648
エンジン				
名 称		クボタ	クボタ	クボタ
型 式		E75-E3-NB3	E75-E3-NB3	E75-E3-NB3
冷却方法		水冷	水冷	水冷
定格出力	kW/rpm	3.7/2,200	3.7/2,200	3.7/2,200

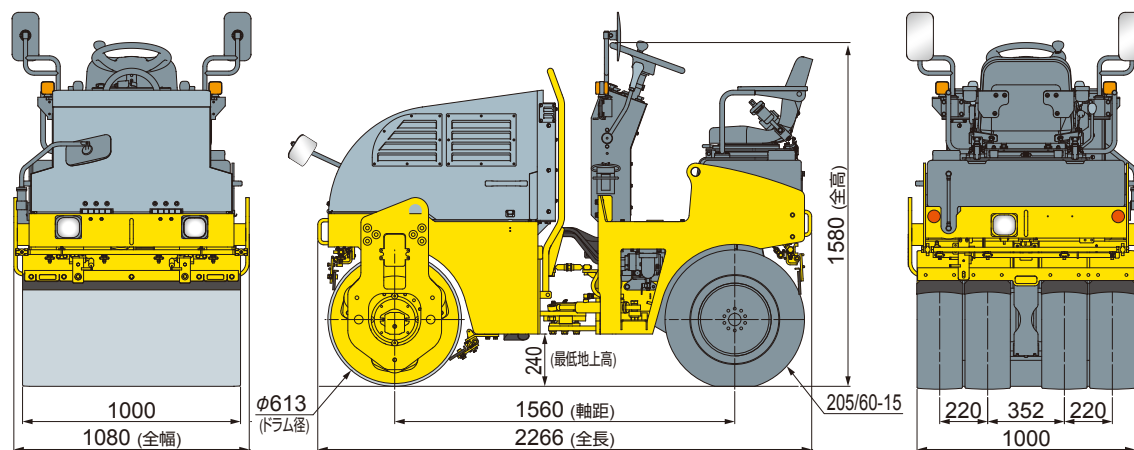
Model		H550KS	H600KS	H650KS	
振 動					
起 振 力		kN	9.8	9.8	10.8
振 動 数		Hz	60	55	55
静 線 圧	N/cm(kg/cm)	前輪	39.2(4.0)	40.2(4.1)	39.2(4.0)
		後輪	58.8(6.0)	66.7(6.8)	61.8(6.3)
動 線 圧	N/cm(kg/cm)	前輪	123.6(12.6)	122.2(12.5)	122.2(12.5)
		後輪	143.4(14.6)	148.1(15.1)	144.8(14.8)
走 行					
走行装置			油圧式	油圧式	油圧式
走行速度		km/h	0～3.0	0～3.0	0～3.0
登坂能力		%(度)	40(22)	40(22)	40(22)
容 量					
燃料タンク		L	4.8	4.8	4.8
エンジンオイル		L	1.3	1.3	1.3
散水タンク		L	32	35	35
作動油タンク		L	10	10	10

▶ オプション

- エコスターター：エンジン始動時のスターター空回しを防止、セルモータ&バッテリーの寿命をアップします。
- 液剤装置 ● LEDサイドライト

▶ 外形図

単位:mm



▶ 仕様

Model		KV15CS コンバインド型
打刻様式		KV15C
質 量		
機械質量	kg	1,700
運転質量	kg	1,800
前輪	kg	1,010
後輪	kg	790
エンジン		
名 称	クボタD1305-K3A	
形 式	立形水冷3気筒、渦流室式	
定格出力	kW/min ⁻¹ [PS/rpm]	18.2/2,400 [24.8/2,400]
総排気量	L	1.261
動力伝達装置		
変速機	静油圧変速機	
逆転装置	可変容量形油圧ポンプの吐出方向変換による	
終減速機	ダイレクトドライブ	
起振装置		
動力伝達	静油圧式	
起 振 機	一軸偏心	
装着位置	前輪	

Model		KV15CS コンバインド型
性 能		
起 振 力	kN[kg]	13.1 [1,340]
振 動 数	Hz [vpm]	55 [3,300]
静 線 圧 N/cm(kg/cm)	前輪	99.0 (10.1)
	後輪	— (—)
動 線 圧 N/cm(kg/cm)	前輪	230.5 (23.5)
	後輪	— (—)
走行速度	km/h	0～10.0
登坂能力	% (度)	20
最小回転半径	m	3.4
制動装置		
走行ブレーキ	静油圧式ブレーキ	
駐車ブレーキ	機械式湿式多板式	
操向装置		
形 態	アーティキュレート式	
形 式	油圧式	
その他		
散水装置	電動圧送式(加圧噴霧)	
液剤噴霧装置	電動圧送式(加圧噴霧)	
燃料タンク	L	20
散水タンク	L	100
液剤タンク	L	9
作動油タンク	L	28

▶ オプション

- ハザードスイッチ
- 散水タイマー
- カラットシート

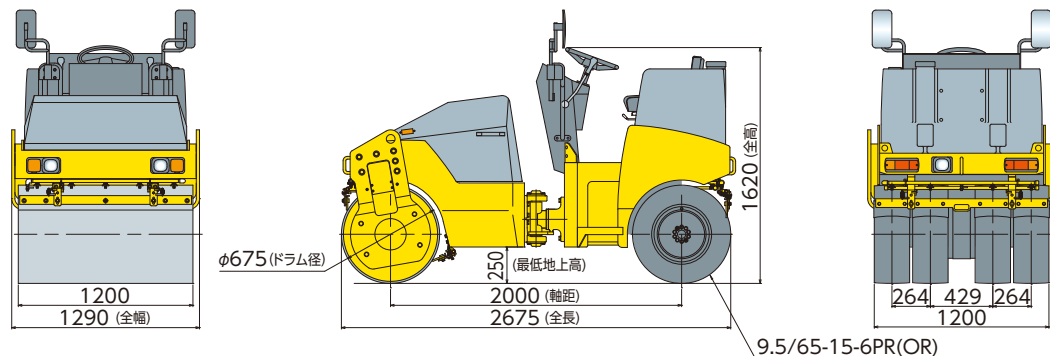
KV25CS/KV25DS

▶ 搭乗型振動ローラ

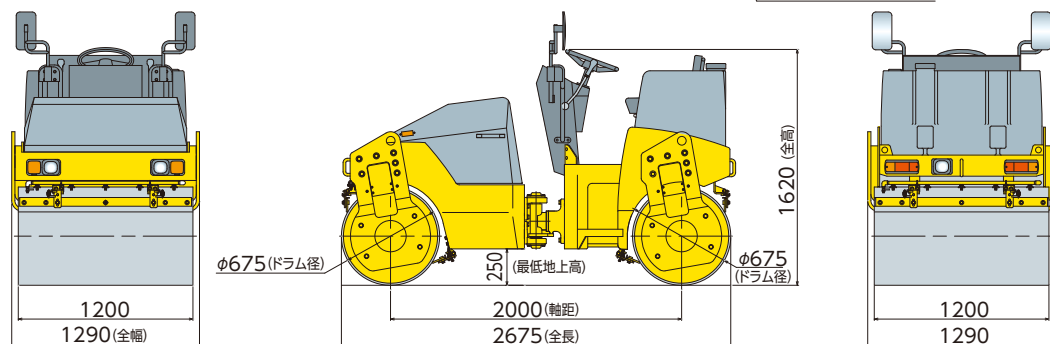
▶ 外形図

単位:mm

KV25CS



KV25DS



▶ 仕様

Model		KV25CS コンバインド型	KV25DS タンデム型
打刻様式		KV25C	KV25D
質 量			
機械質量	kg	2,430	2,730
運転質量	kg	2,700	3,000
前輪	kg	1,450	
後輪	kg	1,250	1,550
エンジン			
名 称		三菱 S3L2-EDL2M	
形 式		立形水冷3気筒、渦流室式	
定格出力	kW/min ⁻¹ [PS/rpm]	17.7/2,500 [24/2,500]	
総排気量	L	1.318	
動力伝達装置			
変 速 機		静油圧変速機	
逆転装置		可変容量形油圧ポンプの吐出方向変換による	
終減速機		ダイレクトドライブ	
起振装置			
動力伝達		静油圧式	
起 振 機		一軸偏心	
装着位置		前輪	前輪&後輪

Model		KV25CS コンバインド型	KV25DS タンデム型	
性 能				
起 振 力		kN [kg]	22.6 [2,300]	20.6 [2,100]×2
振 動 数		Hz [vpm]	58 [3,500]	
静 線 圧	N/cm(kg/cm)	前輪	118.7 (12.1)	118.7 (12.1)
		後輪	— (—)	126.7 (12.9)
動 線 圧	N/cm(kg/cm)	前輪	306.9 (31.3)	290.3 (29.6)
		後輪	— (—)	298.3 (30.4)
走行速度		km/h	0～12.0	
登坂能力		度	21	
最小回転半径		m	4.0	
制動装置				
走行ブレーキ		静油圧式ブレーキ		
駐車ブレーキ		機械式湿式多板式		
操向装置				
形 態		アーティキュレート式		
形 式		油圧式		
その他				
散水装置		電動圧送式 (加圧噴霧)		
液剤噴霧装置		電動圧送式 (加圧噴霧)		—
燃料タンク		L	40	
散水タンク		L	270	
液剤タンク		L	10	—
作動油タンク		L	30	

▶ オプション

- 後方緊急停止装置
- バックセンサー
- 寒冷地仕様
- カラットシート

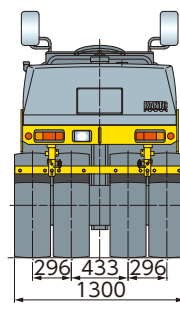
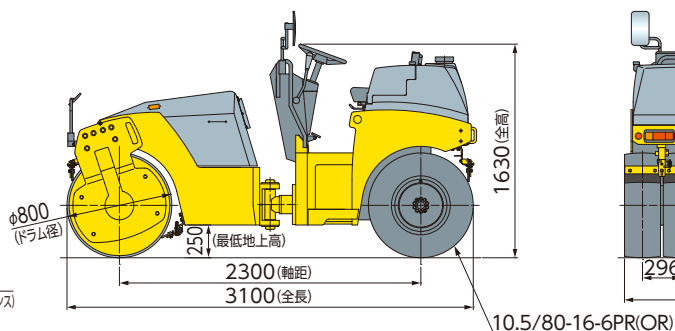
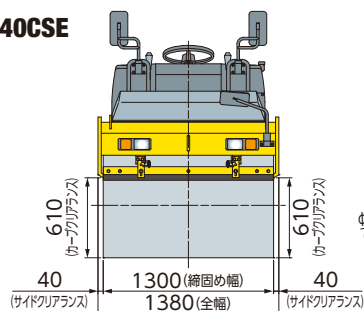
KV40CSE/KV40DSE

▶ 搭乗型振動ローラ

▶ 外形図

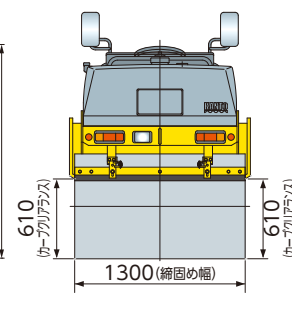
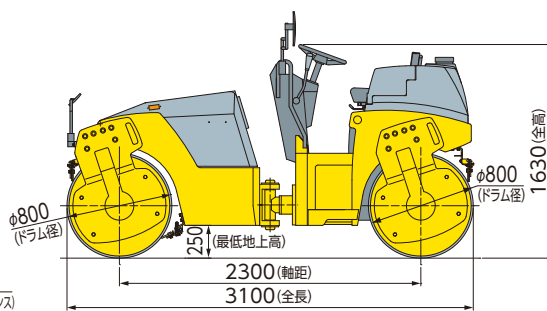
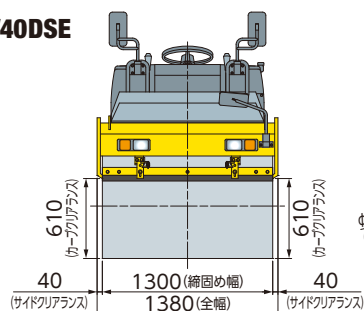
単位:mm

KV40CSE



10.5/80-16-6PR(OR)

KV40DSE



▶ 仕様

Model	KV40CSE コンバインド型	KV40DSE タンデム型
打刻様式	KV40C-4***	KV40D-4***
質 量		
機械質量	kg 3,270	3,670
運転質量	kg 3,600	4,000
前輪	kg 2,000	
後輪	kg 1,600	2,000
エンジン		
名 称	クボタ D1703-DI	
形 式	水冷3気筒, 直噴式	
定格出力	kW/min ⁻¹ [PS/rpm] 18.2/2,200[24.8/2,200]	
総排気量	L 1.647	
動力伝達装置		
変速機／変速段	静油圧変速／2段切換	
逆転装置	油圧ポンプの吐出方向の変換による	
終減速機	ダイレクトドライブ	
起振装置		
動力伝達	静油圧式	
起 振 機	一軸偏心	
装着位置	前輪	前輪&後輪

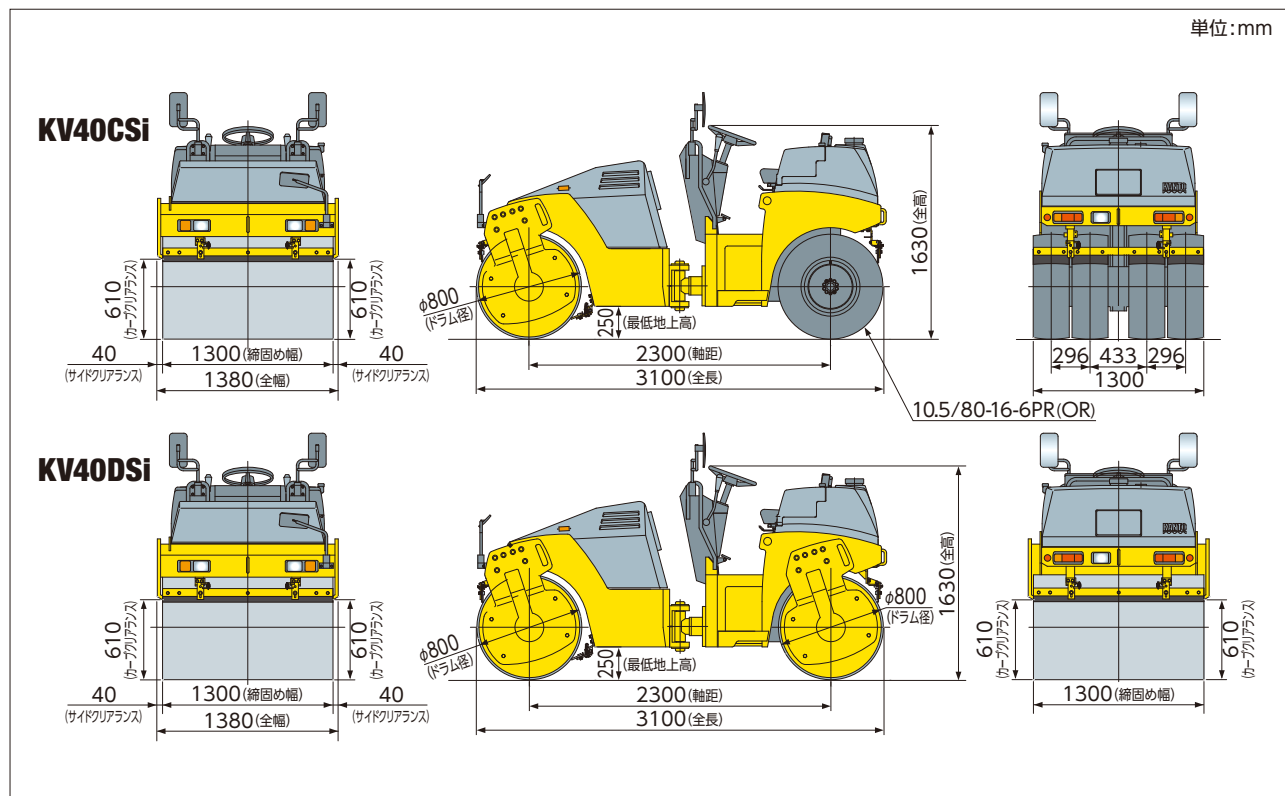
Model		KV40CSE コンバインド型	KV40DSE タンデム型	
性 能				
起 振 力		kN[kg]	24.5[2,500]	24.5[2,500]×2
振 動 数		Hz[vpm]	52.5[3,150]	
静 線 圧 N/cm(kg/cm)	前輪	151 (15.4)		151 (15.4)
	後輪	—(—)		151 (15.4)
動 線 圧 N/cm(kg/cm)	前輪	339.5 (34.6)		
	後輪	—(—)		339.5 (34.6)
走行速度		km/h	低0～8.0、高0～11.5	低0～5.0、高0～10.0
登坂能力		% (度)	40 (22)	
最小回転半径		m	4.3	
制動装置				
走行ブレーキ		静油圧式ブレーキ		
駐車ブレーキ		機械式湿式多板式		
操向装置				
形 態		アーティキュレート式		
形 式		油圧式		
その他				
散水装置		電動圧送式 (加圧噴霧)		
液剤噴霧装置		電動圧送式 (加圧噴霧)	—	
燃料タンク	L	50		
散水タンク	L	330		
液剤タンク	L	10	—	
作動油タンク	L	35		

▶ オプション

- 後方緊急停止装置
- バックセンサー
- カラットシート

KV40CSi/KV40DSi ▶ 搭乗型振動ローラ

▶ 外形図



▶ 仕様

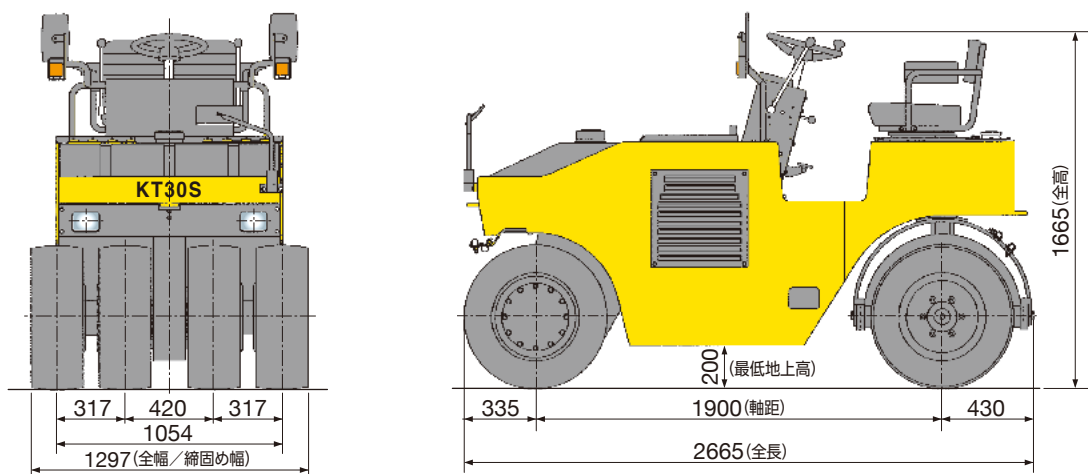
Model	KV40CSi コンバインド型	KV40DSi タンデム型
打刻様式	KV40C-4****	KV40D-4****
質 量		
機械質量	kg 3,270	3,670
運転質量	kg 3,600	4,000
前輪	kg 2,000	
後輪	kg 1,600	2,000
走行性能		
走行速度 (前後進等速)	1速 km/h	0~9.0
	エコモード時	0~8.5
	2速 km/h	0~12.0
	エコモード時	0~11.5
登坂能力	% (度)	40 (22)
最小回転半径	m	4.3
エンジン		
名 称	クボタD1803-CR	
型 式	立形水冷3気筒、渦流室式	
定格出力	kW/min ⁻¹ [PS/rpm]	25.0/2,400 (34.0/2,400)
総排気量	L	1.826

Model	KV40CSi コンバインド型	KV40DSi タンデム型	
転圧輪			
振 動 数	Hz [vpm]	57.5 (3,450)	57.5 (3,450)×2
エコモード時		52.5 (3,150)	52.5 (3,150)×2
起 振 力	kN [kgf]	26.1 (2,665)	26.1×2 (2,665)×2
エコモード時		21.8 (2,220)	21.8 (2,220)×2
動力伝達装置			
変 速 機	静油圧変速／2段切換		
逆転装置	可変容量形油圧ポンプの吐出方向変換による		
終減速機	ダイレクトドライブ		
制動装置			
走行ブレーキ	静油圧ブレーキ		
駐車ブレーキ	機械式湿式多板式		
操向装置			
形 態	アーティキュレート式		
形 式	全油圧式		
その他			
散水装置	電動圧送式 (加圧噴霧)		
液剤噴霧装置	電動圧送式 (加圧噴霧)	—	
燃料タンク	L	45	
散水タンク	L	330	
液剤タンク	L	10	—
作動油タンク	L	35	

- ▶ オプション
- 後方緊急停止装置
 - エコモードスイッチ
 - バックセンサー
 - カラットシート

▶ 外形図

単位:mm



▶ 仕様

Model		KT30S
打刻様式		KT30-****
質 量		
機械質量	合計 kg	2,860
	前輪 kg	1,640
	後輪 kg	1,220
運転質量	合計 kg	3,000
	前輪 kg	1,770
	後輪 kg	1,230
タイヤ質量(1本あたり)		
機械質量時	前輪 kg	410
	後輪 kg	407
運転質量時	前輪 kg	442
	後輪 kg	410
走行性能		
走行速度 (前後進等速)	1速km/h	0~5.7
	2速km/h	0~10.0
最小回転半径	m	3.9
登坂能力	度	25
制動装置		
走行ブレーキ	静油圧式ブレーキ、機械式湿式多板ブレーキ	
駐車ブレーキ	機械式湿式多板ブレーキ	

Model		KT30S
エンジン		
名 称		三菱 S3L2-EDL2M
形 式		立形水冷3気筒、過流室式
総排気量 L		1.318
定格出力 kW/min ¹ [PS/rpm]		17.7/2500[24/2500]
動力伝達装置		
変 速 機		静油圧変速機
変速段数		2速
終減速機		遊星歯車式
車輪装置		
タイヤ寸法		9.5/65-15-6PR(OR)
タイヤ本数		前輪4本 × 後輪3本
タイヤ空気圧 kPa		325
オーバーラップ mm		105
操向装置		全油圧式 パワーステアリング
散水装置		電動圧送式(加圧噴霧)
散油装置		電動圧送式(加圧噴霧)
タンク容量		
燃料タンク L		32
散水タンク L		140
液剤タンク L		10
作動油タンク L		31

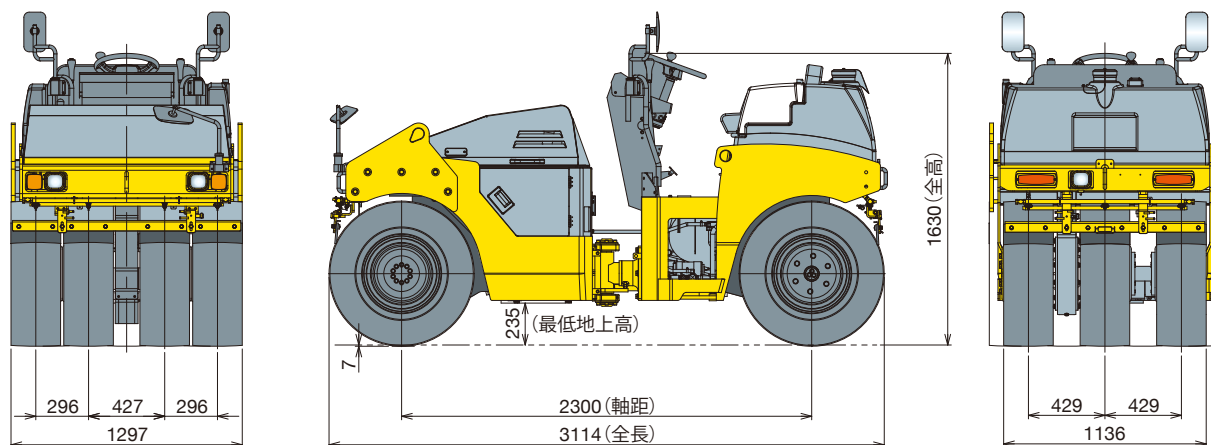
▶ オプション

● 寒冷地仕様

● カラットシート

▶ 外形図

単位:mm



▶ 仕様

Model			KT40S
打刻様式			KT40S-3****
質 量			
機械質量	水無し	kg	3,240
運転質量	水満タン	kg	3,570
	水半分	kg	3,405
質量配分	運転質量(水満タン時)	kg	前軸1,945/後軸1,625
	運転質量(水半分時)	kg	前軸1,940/後軸1,465
	運転質量(水無し時)	kg	前軸1,935/後軸1,305
タイヤ質量(1本あたり)			
	運転質量(水満タン時)	kg	前軸486.3/後軸541.7
	運転質量(水半分時)	kg	前軸485/後軸488.3
	運転質量(水無し時)	kg	前軸486.8/後軸435
性 能			
走行速度	1速	km/h	0～6.7
	2速	km/h	0～10
静 線 圧	N/cm (kgf/cm)		—
登坂能力	度		22
最小回転半径	m		4.7
寸 法			
全 長	mm		3,114
全 幅	mm		1,297
全 高	mm		1,630
軸 距	mm		2,300
締固め幅	mm		前輪1,297/後輪1,136
最低地上高	mm		235

Model		KT40S	
機 関			
エンジン名称		クボタ D1703-D1-K3A	
形 式		水冷3気筒直噴式	
定格出力 kW/min ⁻¹		18.2/2,200	
総行程容積 L		1.647	
動力伝達装置			
変速機/変速段		静油圧変速/2速	
逆転装置		油圧ポンプの吐出方向変換による	
終減速機		ダイレクトドライブ	
走行装置			
旋回型式		アーティキュレート式	
伝達型式		全油圧式/パワーステアリング	
車両装置			
タイヤサイズ		10.5/80-16-6PR(OR)×4	
タイヤ本数		前輪4本 後輪3本	
タイヤ空気圧 kPa		400	
制動装置			
走行ブレーキ		静油圧ブレーキ、機械式湿式多板ブレーキ	
駐車ブレーキ		機械式湿式多板式	
散水装置		電動圧送式	
液剤噴霧装置(前輪及び後輪)		電動圧送式	
タンク容量			
燃料タンク L		45	
散水タンク L		330	
液剤タンク L		10	

▶ オプション

- カラットシート
- 後方緊急停止装置
- バックセンサー



<https://www.kanto-tk.co.jp/>

詳しい情報はホームページをご覧ください。
取扱説明書、パーツリストも掲載しています。

- 本機の仕様は性能向上のため、予告なく変更することがあります。
- ボディカラーおよび他のパーツは、撮影や印刷の関係で実際の色とは異なって見えることがあります。
- ご使用されるときは「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 故障や事故を防ぐため、車体の定期的な点検を必ず行ってください。
- 本機の運転には「ローラの運転に係わる特別教育」を必ず受講してください。

関東鉄工株式会社 KANTO TEKKO CO., LTD

本社／〒306-0127 茨城県古河市下片田852-4
TEL: 0280-77-0081 FAX: 0280-77-0080

KANTO-TK

検 索



インターネットの「KANTO-TK」で検索してください。
当社ホームページが、すぐに見付かります。

●お問い合わせは…